

水でくらしを支える

三重県企業庁

三重県企業庁
マスコットキャラクター
『みずたまくん』

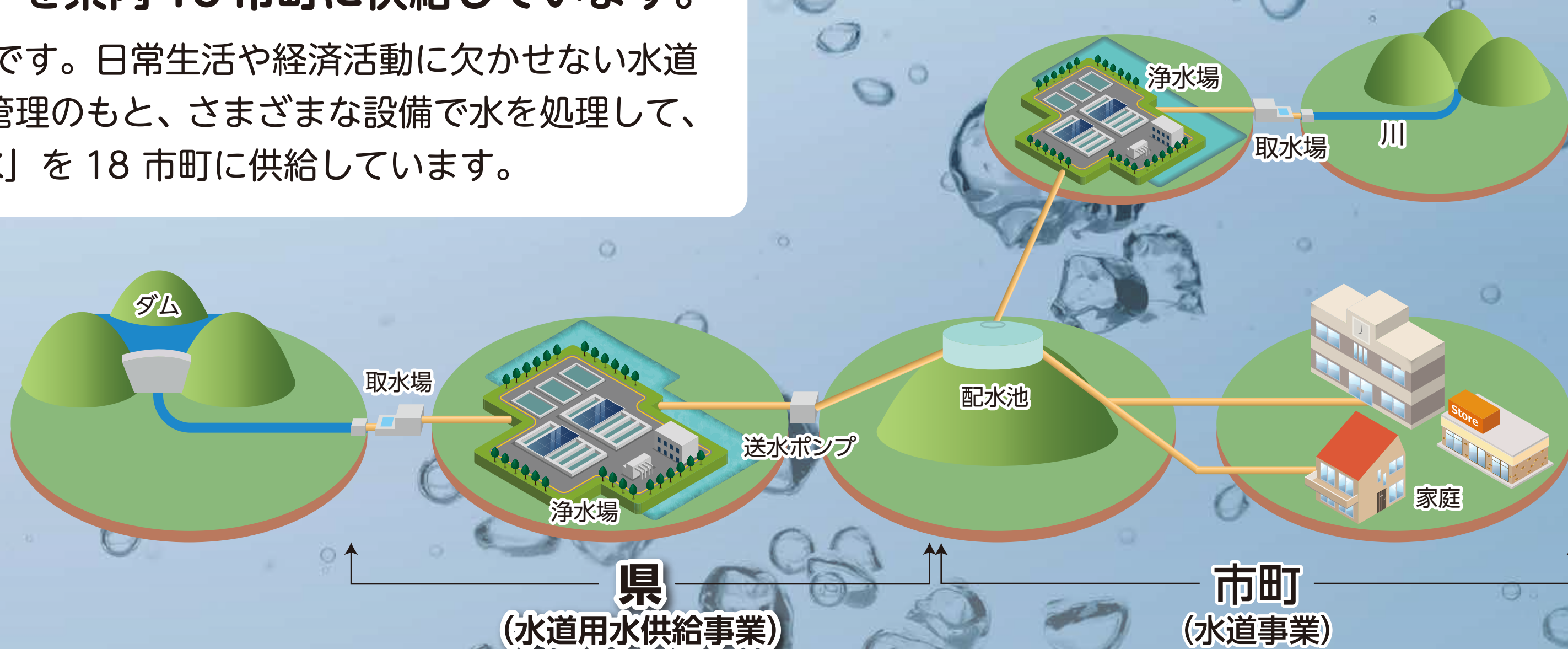
三重県企業庁は市町とともにご家庭に水道水をお届けしています。

日常生活に欠かせない「水道用水」を県内 18 市町に供給しています。

三重県企業庁は、県が経営する公営企業です。日常生活や経済活動に欠かせない水道水を安定してお届けするために、徹底した管理のもと、さまざまな設備で水を処理して、県内の水道水の約 30%にあたる「水道用水」を 18 市町に供給しています。



浄水場



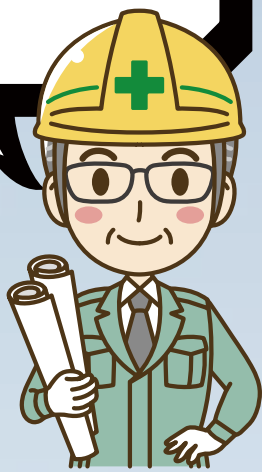
浄水場や水道管など、水道施設の「耐震化」「老朽化対策」に力を入れています！

強靱な水道施設の整備

令和 7 年 1 月に埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損に伴う道路陥没事故をはじめ、全国的にインフラ施設の老朽化、劣化に伴う大規模な事故が発生しています。また能登半島地震では、生活用水が長期にわたり断水し、住民の皆さんの生活に大きな影響を与えたため、水道水や水道施設の重要性が再認識されています。

三重県企業庁では南海トラフ地震や近年頻発する自然災害への対応とともに、AI やビッグデータなども活用し、耐用年数、劣化状況等を総合的に判断して効率的な老朽化対策を進め、強靱な水道施設の整備をめざします。

直径25cmの水道管を1km 耐震化するには、約1億4千万円もの費用がかかります。
※更新箇所状況により変動します。



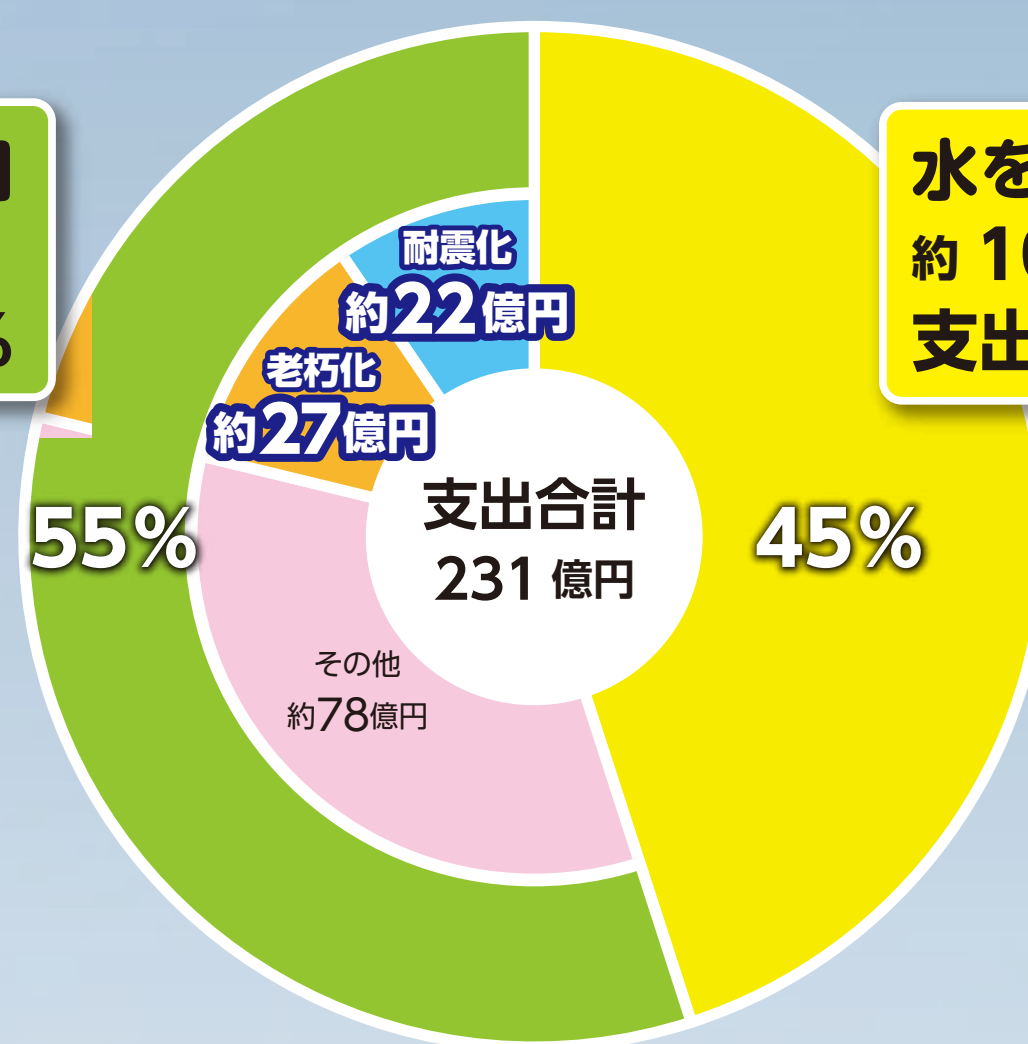
水道事業予算（令和 7 年度）

施設づくりにかかる費用
約 127 億円
支出に占める割合 55%

浄水場や水道管、ポンプ所などをつくり、古くなった施設を更新する費用など

水をお届けする費用
約 104 億円
支出に占める割合 45%

水をきれいにするための費用や水を送るためのポンプの電気代など

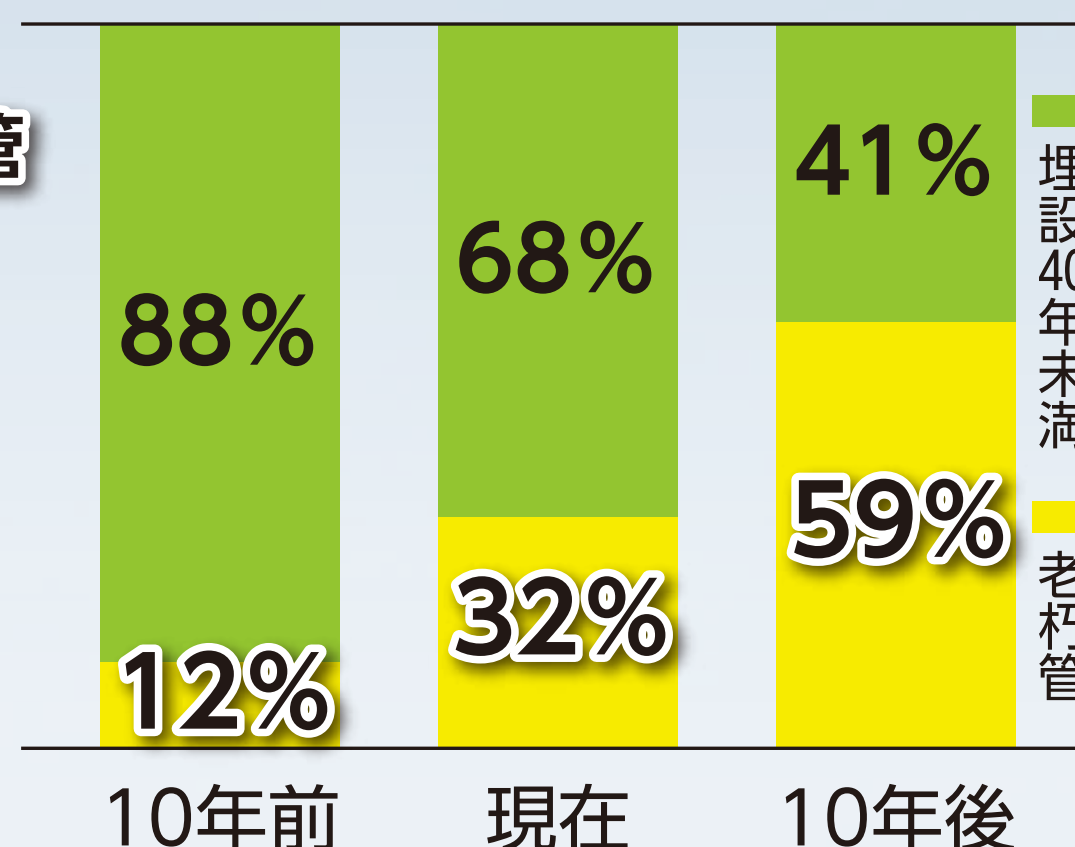
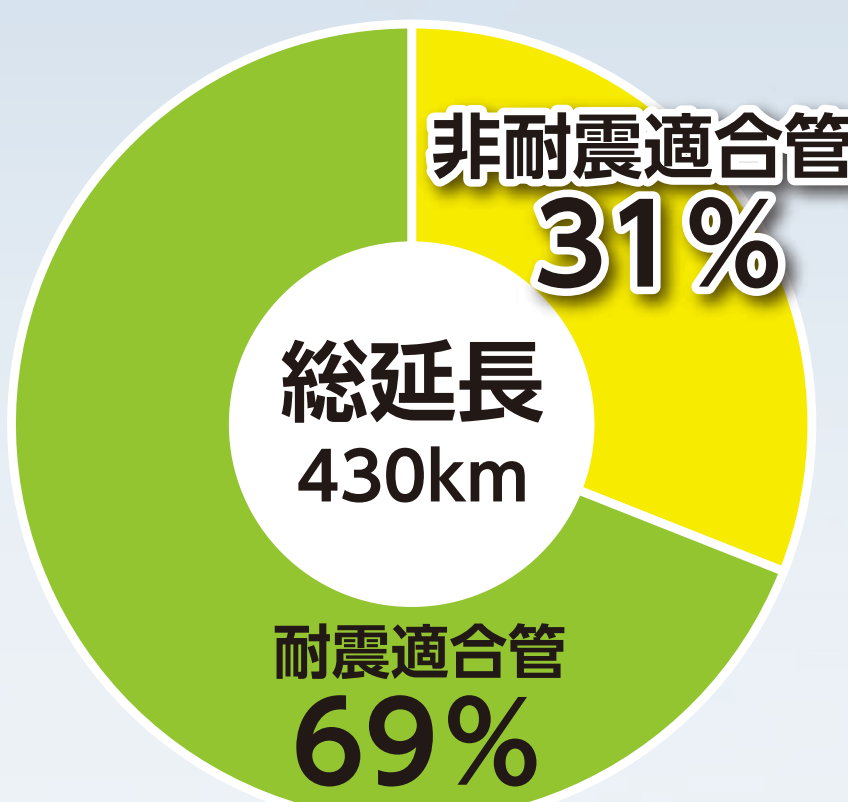


耐震適合管の割合

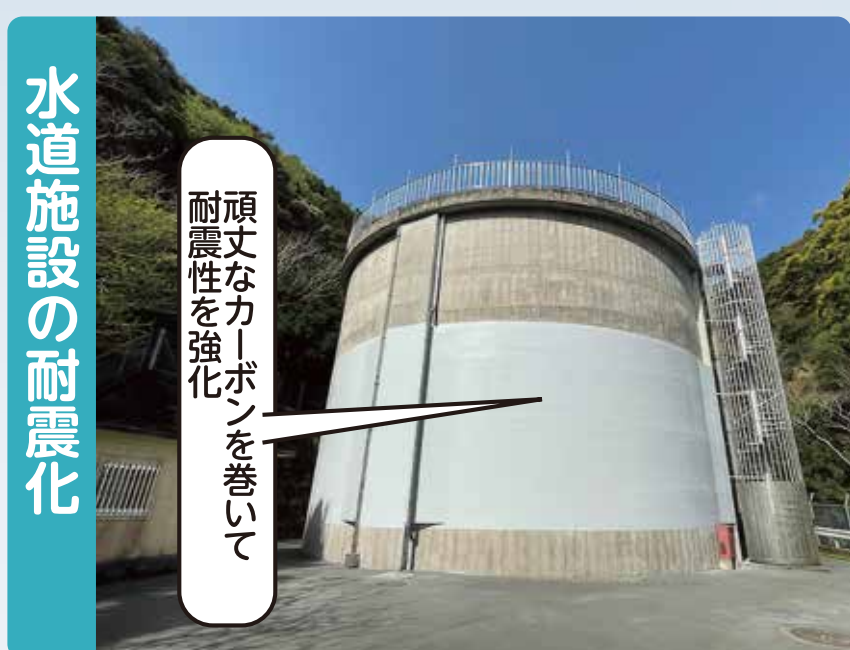
(令和 7 年 3 月末時点)

老朽管（埋設 40 年以上）の割合

(令和 7 年 3 月末時点)



地震に弱い水道管（非耐震適合管）がまだ 31% あり、今後、老朽化の進行も見込まれるため、引き続き「耐震化」や「老朽化対策」の取り組みが必要です。



調整池（水を貯めるタンク）の耐震補強



地震に強い耐震管へ

安全で安心な水道水の安定的な供給は、皆さんからの水道料金によって支えられています。

